



会社案内

2020. 1 . 1 版

物流の未来を創造する。

More Speedy,
More Surely,
and More Safety.

株式会社

北都高速運輸倉庫

会社紹介資料



1. 経営理念・方針

企業目標の実現のため、従業員の意識統一をはかります。

経営理念

全従業員の物心両面の幸せを追求すると同時に、
質の高い物流サービスを通じて人々の生活を豊かにします。

経営方針

株式会社 北都高速運輸倉庫グループは、
ISOマニュアルを中心とする質の高い組織を確立し、
経営理念の実現を目指します。

1. 原理原則である北都フィロソフィを判断基準にして、
規律正しい信用のある組織を目指します。
2. ISOマニュアルを中心として、社内の「見える化」を図り、
働きやすい環境を整えます。
3. ISOマニュアルを中心として、従業員の役割を明確にし、
内部体制の強化を進め、責任をもって行動する（言った言わない、
聞いた聞かない、他人のせいにしない）組織を目指します。
4. 目標を周知徹底し、全従業員が助け合いながらベクトルを合わせ、
目標を達成できる組織を目指します。
・安全目標 ・環境目標 ・売上目標
5. 経営理念を実現するために、利益を上げるとともに、
安全優先、環境にやさしい組織を目指します。

2. 会社概要・沿革

創業以来、物流システムの提案により地域企業の発展に貢献

会社概要

社名	株式会社 北都高速運輸倉庫	
役員	代表取締役	山崎 勝治
	常務取締役	山崎 薫
	取締役	藤尾 益雄
	監査役	宮田 健一郎
資本金	4,700万円	
設立日	昭和27年6月	
社員数	10名 (グループ 計220名)	
事業目的	総合物流業 持株会社としてホールディングスグループ会社の経営管理および附帯業務の管理	
本社所在地	■本社営業所 石川県金沢市湊4-54-1	
北都高速グループ企業	■(株)北都高速運輸倉庫金沢	石川県金沢市湊4-54-1 □金沢物流センター 金沢市湊4-43 □豊橋事務所 愛知県豊橋市神野新田町字イノ割57-10
	■(株)北都高速運輸倉庫富山	富山県砺波市狐島350-1 □砺波倉庫
所在地	■(株)北都高速運輸倉庫黒部	富山県下新川郡入善町下飯野218-1
	■(株)北都高速運輸倉庫福井	福井県丹生郡越前町東内郡2-104
	■(株)北都高速運輸倉庫東北	岩手県西磐井郡平泉町平泉字坂下107-1 □関東営業所 埼玉県久喜市河原井町19 管理センター別棟2階 □京浜営業所 横浜市西区西戸部町2-128-17 102号
	■一関貨物自動車(株)	岩手県一関市東台14-59 □盛岡営業所 岩手県盛岡市黒川122地割7-1 101号
URL	http://hokuto-kousoku.co.jp	

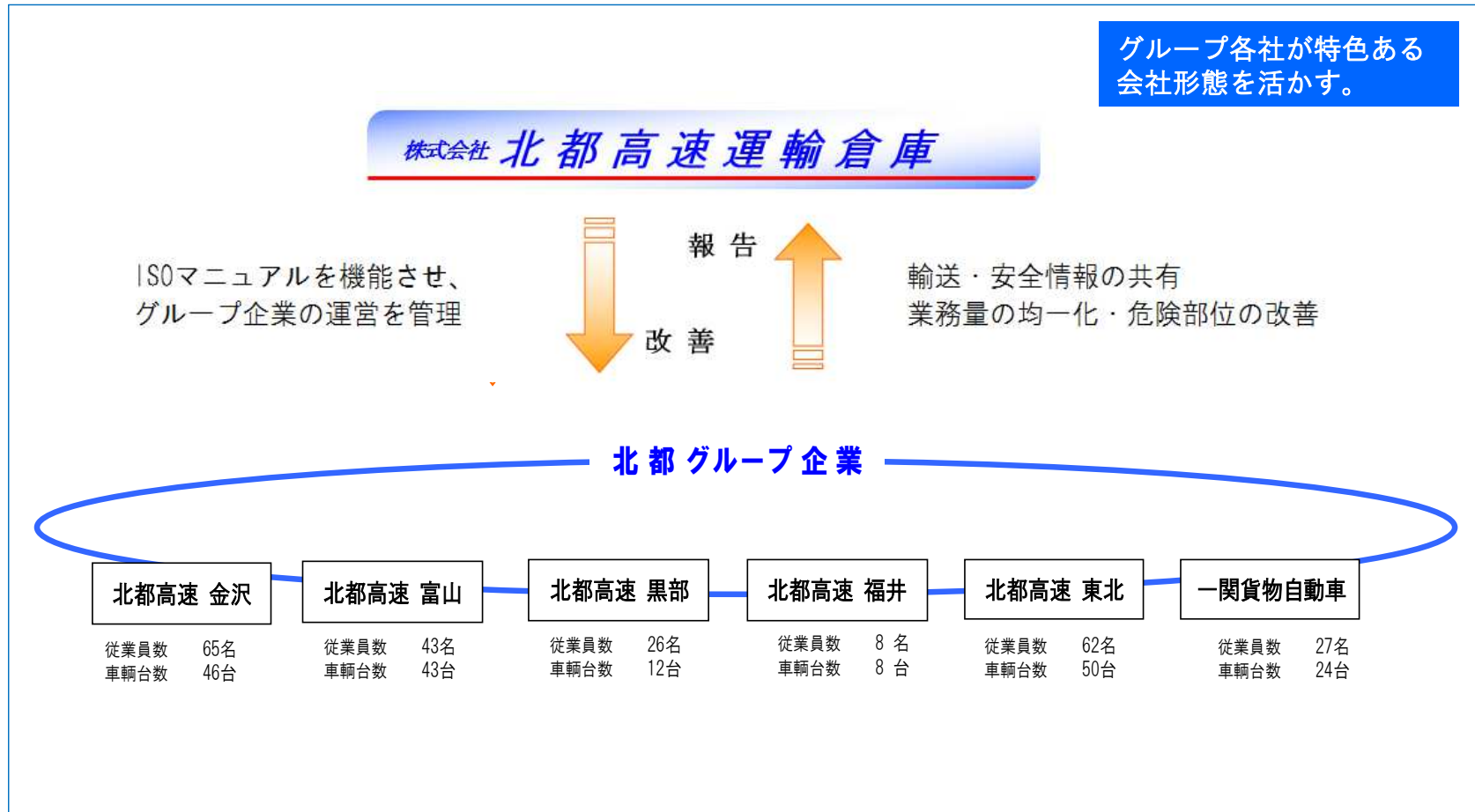
会社沿革

昭和43年11月	個人営業山崎商店を開設
昭和46年3月	株式会社北都高速に名称変更
昭和49年11月	富山県砺波市に砺波営業所を開設
昭和56年10月	営業倉庫業を開始
昭和61年8月	金沢物流センター第一期工事完了
昭和62年3月	福井県下江守町に福井営業所を開設
昭和62年4月	株式会社 北都高速運輸倉庫に名称を変更
昭和63年9月	福井県丹生郡越前町に福井営業所を移設
昭和63年10月	金沢物流センターに危険品倉庫を新設
平成3年10月	金沢物流センター第二期工事(増築)完了
平成6年12月	富山県砺波市狐島に砺波営業所を新築移設
平成13年12月	岩手県一関市に東北連絡所を開設
平成15年7月	富山県黒部市に黒部営業所を開設
平成16年1月	金沢市湊に本社施設を移設(現在地)
平成16年12月	岩手県平泉町に東北営業所を開設
平成20年12月	ISO 9001・ISO 14001 認証取得
平成23年6月	金沢物流センターに低温倉庫を新設
平成24年6月	グループ組織をホールディングス体制に移行
平成25年7月	富山県入善町に(株)北都高速運輸倉庫 黒部 本社事務所・物流倉庫を新築移設
平成27年2月	岩手県平泉に(株)北都高速運輸倉庫 東北 本社事務所を新築移設
平成29年5月	株式会社 神明 と資本業務提携契約を締結
平成29年6月	(株)神明ロジスティクス代表取締役役に山崎社長が就任
平成30年2月	資本提携により一関貨物自動車(株)を北都高速グループとする

3. 組織体制

ホールディングス体制によるグループ企業運営

北都高速 ホールディングス体制



3. 組織体制

ホールディングス体制によるグループ企業運営

(株)北都高速運輸倉庫

- (株)北都高速運輸倉庫 を持株会社として全7社でホールディング体制を形成。

- 管理業務の集約

北都グループの管理部門として全社総括の役割を有し、グループ全社の 経理業務・総務業務・運行業務・営業業務 の統括管理をおこないます。

- 個々の独立と協力体制

北陸、東北、関東のグループ6社が、輸送業務・保管業務 の実務を担います。



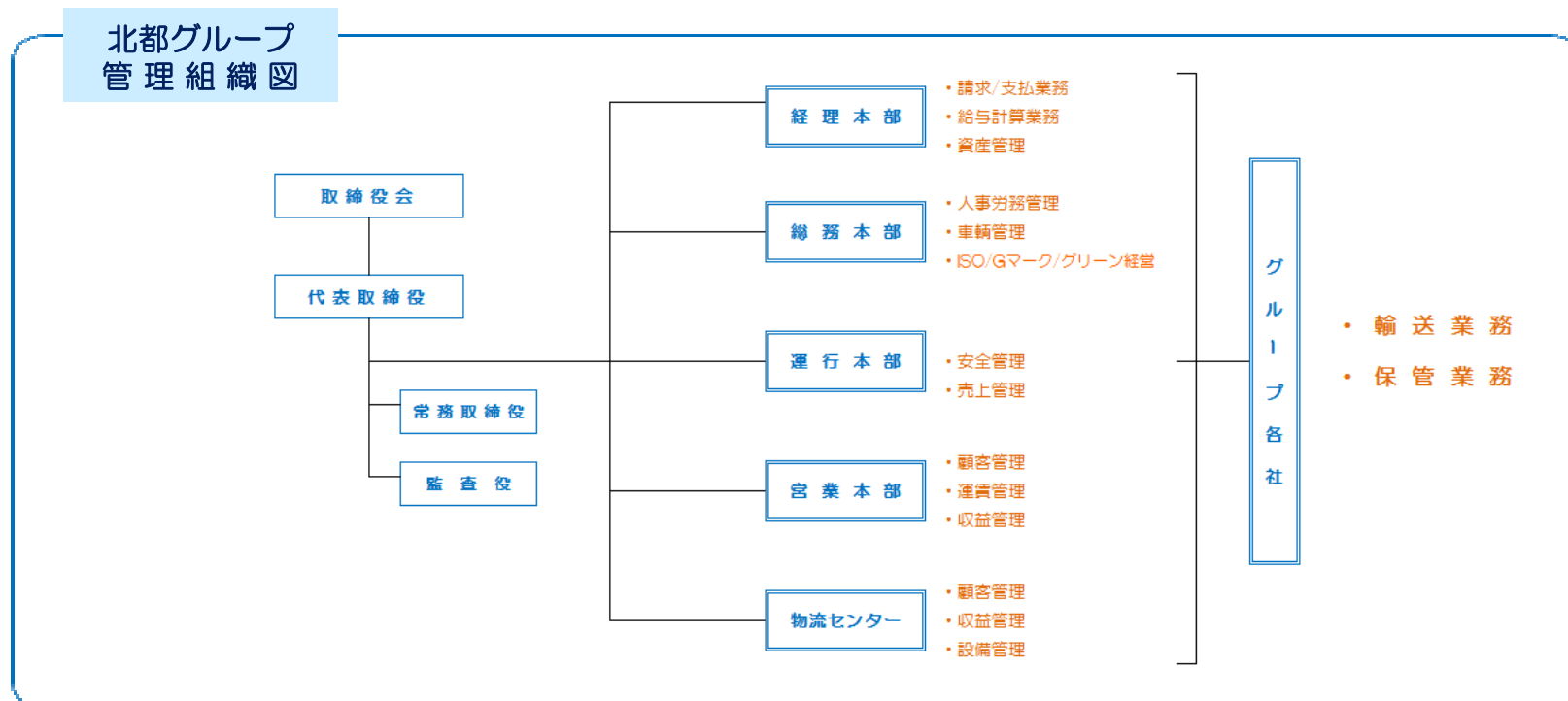
◇ グループ全従業員数	220名
◇ 保有車輛	180台
◇ 保管倉庫総面積	16,500㎡ (約5,000坪)

3. 組織体制

ホールディングス体制によるグループ企業運営

(株)北都高速運輸倉庫

- グループ各社を経営理念・経営方針に則した運営に導き、全従業員がベクトルを統一し、経営計画の目標達成に取り組めます。



3. 組織体制

ホールディングス体制によるグループ企業運営

北都グループ各社概要

(株)北都高速運輸倉庫 金沢

役員	代表取締役 松本 康弘	社員数	65名			
事業	一般貨物自動車運送事業／貨物利用運送事業／営業倉庫業					
所在地	石川県金沢市湊4丁目54番地1					
営業所	<input type="checkbox"/> 金沢物流センター 石川県金沢市湊4-43 <input type="checkbox"/> 豊橋事務所 愛知県豊橋市神野新田町字イノ割57-10					
保管倉庫面積	9,400㎡					
保有車輛 46台	車種	大型		中型	その他	
		15ト	7ト			
	ウイング	20	1	12	トラクタ	1
	平ボディ	2	-	2	コンテナ用 トレーラ	2
保冷車	2	2	1	ユニック (4ト)	1	

(株)北都高速運輸倉庫 富山

役員	代表取締役 半田 一史	社員数	43名					
事業	一般貨物自動車運送事業／貨物利用運送事業／営業倉庫業							
所在地	富山県砺波市狐島350-1							
保管倉庫面積	1,000㎡							
保有車輛 43台	車種	大型		中型		その他		
		15ト	7ト	5ト	4ト			2ト
	ウイング	19	1	5	4	-	トラクタ	2
	平ボディ	1	-	1	-	3	ミルクタンク トレーラ	2
保冷車	2	1	2	-	-			

金沢物流センター



ミルクタンクトレーラ



3. 組織体制

ホールディングス体制によるグループ企業運営

北都グループ各社概要

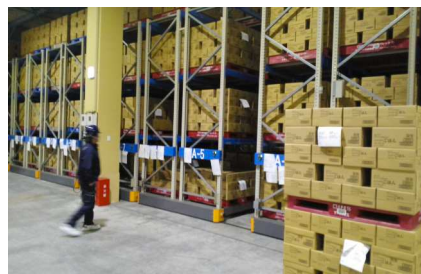
(株)北都高速運輸倉庫 黒部

役員	代表取締役 石田 和徳		社員数	26名
事業	一般貨物自動車運送事業／貨物利用運送事業			
所在地	富山県下新川郡入善町下飯野218-1			
保管倉庫面積	3,300㎡			
保有車輛 12台	車種	大型	中型	
		15ト	4ト	2ト
	ウイング	10	1	1

(株)北都高速運輸倉庫 福井

役員	代表取締役 細川 正代		社員数	8名
事業	一般貨物自動車運送事業／貨物利用運送事業			
所在地	福井県丹生郡越前町東内郡2-104			
保管倉庫面積	2,260㎡			
保有車輛 8台	車種	大型	中型	
		15ト	4ト	2ト
	ウイング	5	1	1
	保冷車	1	-	-

北都黒部 事務所/物流倉庫 (H25.7月 新設)



3. 組織体制

ホールディングス体制によるグループ企業運営

北都グループ各社概要

(株)北都高速運輸倉庫 東北

役員	代表取締役 小野寺 勝彦			社員数	62名	
	取締役 小野寺 芬					
事業	一般貨物自動車運送事業／貨物利用運送事業					
所在地	岩手県西磐井郡平泉町平泉字坂下107番地1					
営業所	<input type="checkbox"/> 関東営業所 埼玉県久喜市河原井町19 久喜菖蒲工業団地管理センター別棟 2階 <input type="checkbox"/> 京浜営業所 横浜市西区西戸部町2-128-17 102号					
保管倉庫面積	600㎡					
保有車輛 50台	車種	大型	中型		その他	
		15ト	4ト	2ト		
	ウイング	8	3	-	トラクタ	3
	平ボディ	2	1	4	ウイング トレーラ	3
保冷車	16	7	-	ユニック (4ト/10ト)	2	

一関貨物自動車(株)

役員	代表取締役 小野寺 登紀治		社員数	27名
	取締役 小野寺 勝彦			
事業	一般貨物自動車運送事業／貨物利用運送事業			
所在地	岩手県一関市東台14-59			
営業所	<input type="checkbox"/> 盛岡営業所 岩手県盛岡市黒川22地割7-1 101号			
保有車輛 24台	車種	大型	中型	
		15ト	5ト	4ト
	ウイング	8	-	2
	平ボディ	3	-	4
保冷車	1	1	5	



4. 組織管理

従業員の役割を明確化し、内部体制の強化をはかります。

■ ISOマニュアルによる組織管理 (2008年 品質9001/環境14001 認証取得)



- ISO認証をグループ各社の管理手法として運用し、管理業務の統一と組織強化を目指します。

改善委員会 (年4回) ・ 内部監査 (年2回) ・ 外部機関審査 (年1回)

ISO 9001: 2015 認証

㈱北都高速運輸倉庫はグループ企業と共に、**品質管理<運送業務・倉庫業務>**の維持と向上に努めます。

認証登録範囲

㈱北都高速運輸倉庫 本社
㈱北都高速運輸倉庫 金沢 / 金沢物流センター
運送業務 及び 倉庫業務サービスの提供



認証登録証明書

ISO 9001: 2015 認証

「信用」の企業理念に基づき培った実績をもとに、**<安全・環境を柱とした物流サービス>**をお客様に提供し、地域と社会に必要とされる存在を目指します。

認証登録範囲

㈱北都高速運輸倉庫 本社
㈱北都高速運輸倉庫 金沢 / 金沢物流センター
運送業務 及び 倉庫業務サービスの提供



認証登録証明書

4. 組織管理

安全会議を機能させ、事故の削減に努めます。

安全会議の種類と特徴

会議名	出席対象者	開催日及び実施回数	内容	
北都高速協定会議	社長 各グループ会社社長	毎月 第2土曜日	事故状況報告	改善対策・事故処理状況の確認・事例検証
			業績報告	北都高速および各グループ会社実績報告
			営業報告	荷主別実績報告・顧客情報の報告と対策
			適正業務確認	点検表による業務内容の確認・コンプライアンス管理 (130社内規定・Gマーク基準・法規則に基づく)
			業務指示	労務管理、安全衛生指示・事故事例に対する改善指導
安全衛生委員会 事故処理委員会	社長 役員 安全管理者 衛生管理者 (安全衛生推進者) 部門管理者 運転者班 班長 副班長 班員	毎月 第2土曜日	安全衛生に関わる調査指導事項 (労働法17条・19条) (労働法21条・22条)	労働者の危険を防止するための基本対策 労働者の健康障害防止、健康保持増進のための基本対策 労働災害の原因および対策で安全衛生に関すること その他労働者の危険防止、健康障害防止に関する重要事項
			交通安全対策	国交省指導監督指針に基づく教育の実施 (安全計画年間教育表に基づく。)
			課題検討	班会議へのテーマ選定・要点指導の提案 検討事項、注意事項のとりまとめ。
			意見聴取	要望事項検討・決済・質疑応答
			事故状況報告	事故状況の詳細報告・乗務員の事故状況説明
			改善対策	事故検証・防止策計議
			その他	緊急指導の実施・顧客情報の周知
			会議内容の報告	班員への安全衛生委員会の内容報告
			課題対応	テーマ対応(技術指導・事故事例検証)
			専門指導	事故、不具合等の重要性、荷主からの要請に応じた専門指導を実施。
班会議	部門管理者 班員 全員参加	毎月1回 班毎に決定	意見聴取	要望事項検討・質疑応答
			交通安全対策	国交省指導監督指針に基づく教育の実施 過労・飲酒運転の撲滅への指導等
			貨物事故対策	荷物に応じた正しい積載方法の確認
			荷主対応	マニュアル、注意事項等の再確認
			意見聴取	要望事項検討・質疑応答
安全衛生大会	全員	年4回	意見聴取	要望事項検討・質疑応答
			その他	健康管理指導・外部講師による安全講話

その他 運転者指導

指導名	対象者	実施時期	指導内容	
初任運転者指導 (国交省指導監督指針に基づく初任者教育)	初任運転者	入社から 3ヶ月以内	テキスト研修	プロドライバーとしての心構え、安全運転技術の習得
			添乗指導	運転技術、積載技術の習得・ワンマン運転への見極め
			適正診断	外部機関による運転適性検査
運転者特別指導	事故当事者 新人運転者等	随時 (土曜日実施)	プロドライバーとしての役割、責任への意識改革 事故事例検証・改善対策指導	



5. 北都高速グループの取組み

グループ組織力を活かした業務への取組み

グループ組織力の強化

受注・出荷・配車・請求 までの物流サービスを管理するネットワークシステムを構築
物流サービスの品質維持と向上を推進します。



協力体制による合理化

■ 北都高速運輸倉庫は信用を基礎に、全国の物流企業とのネットワークを築きます。

求車・求貨 情報を共有し、共同物流の合理化が実現

1. 長距離輸送トラックを安定的に確保
2. 最適車種を必要時に必要な分だけを利用
3. 輸送コストの低減が可能
4. 緊急出荷への対応が可能
5. 輸送効率の向上により環境対策にも対応

情報の共有によりグループ間の業務配分を推進する。
効率化と合理化により、労働条件の改善と
物流品質の安定供給を目指します。

北都高速運輸倉庫は全国各地のネットワークを自社の営業力として活用し、
自社単独では成し得ない分野への開拓と幅広い事業展開で経営の活性化を目指します。

5. 北都高速グループの取組み

グループ各社が特色を活かし、地域企業と共に発展を目指します。

グループ各社の特色

(株)北都高速運輸倉庫 金沢

■ 特長

北陸の海陸の拠点である立地条件を活かし、物流のオールラウンドサービスを提供します。

■ 輸送業務

- 豊富な車輛数と多機能な倉庫施設を活かした保管輸送の実施
- 農産物を多数の出荷先から集荷し、全国へ輸送をおこなう、**集約物流**を提供。

■ 倉庫業務

- 常温倉庫・低温倉庫・危険品倉庫 を活かし、多品種の貨物保管をおこなう。
- 荷役作業→在庫管理→加工検品→出庫作業→輸送 までの**トータル輸送**を提供。

所在地 : 石川県金沢市
保有車輛数 : 46台
保管倉庫面積 : 9,400㎡



低温倉庫



危険品倉庫

5. 北都高速グループの取組み

グループ各社が特色を活かし、地域企業と共に発展を目指します。

集約物流体制

農産物輸送体制

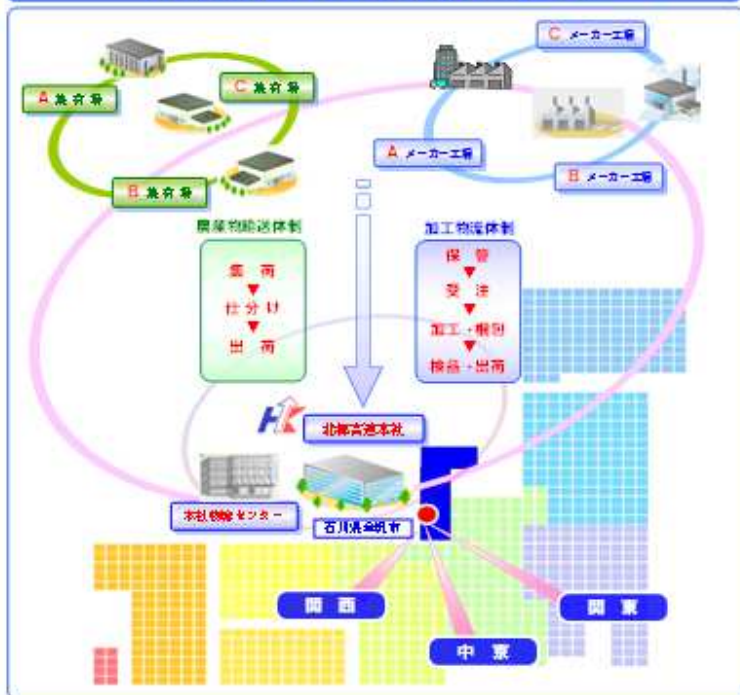
生産地域に点在する多量の集荷場から農産物を集荷し、品種・方面別に仕分けをおこない出荷します。

加工物流体制

多量の部材で構成される製品に対して、それらの集約保管をおこない、加工・梱包等を実施し出荷します。

情報・輸送品の拠点集約により輸送の効率化が実現しました。
リードタイムの短縮や異業種との混載輸送が可能となりました。

北都高速運輸倉庫は
輸送効率の向上と輸送コストの低減を提案します。



トータル輸送体制

北陸の海陸の拠点である立地条件を活かし、多様にわたる商品を個々に管理し、ニーズに応じた配送システムの構築を提案いたします。

物流センター概要

- 3階建 常温倉庫
危険物倉庫 定温倉庫
(第四類 屋内貯蔵所)

取扱商品

- 建築部材 タイヤ 樹脂製品 機械製品
- 食糧米 織 織 液体危険物 その他多様にわたる



金沢物流センター

物流センター 管理体制

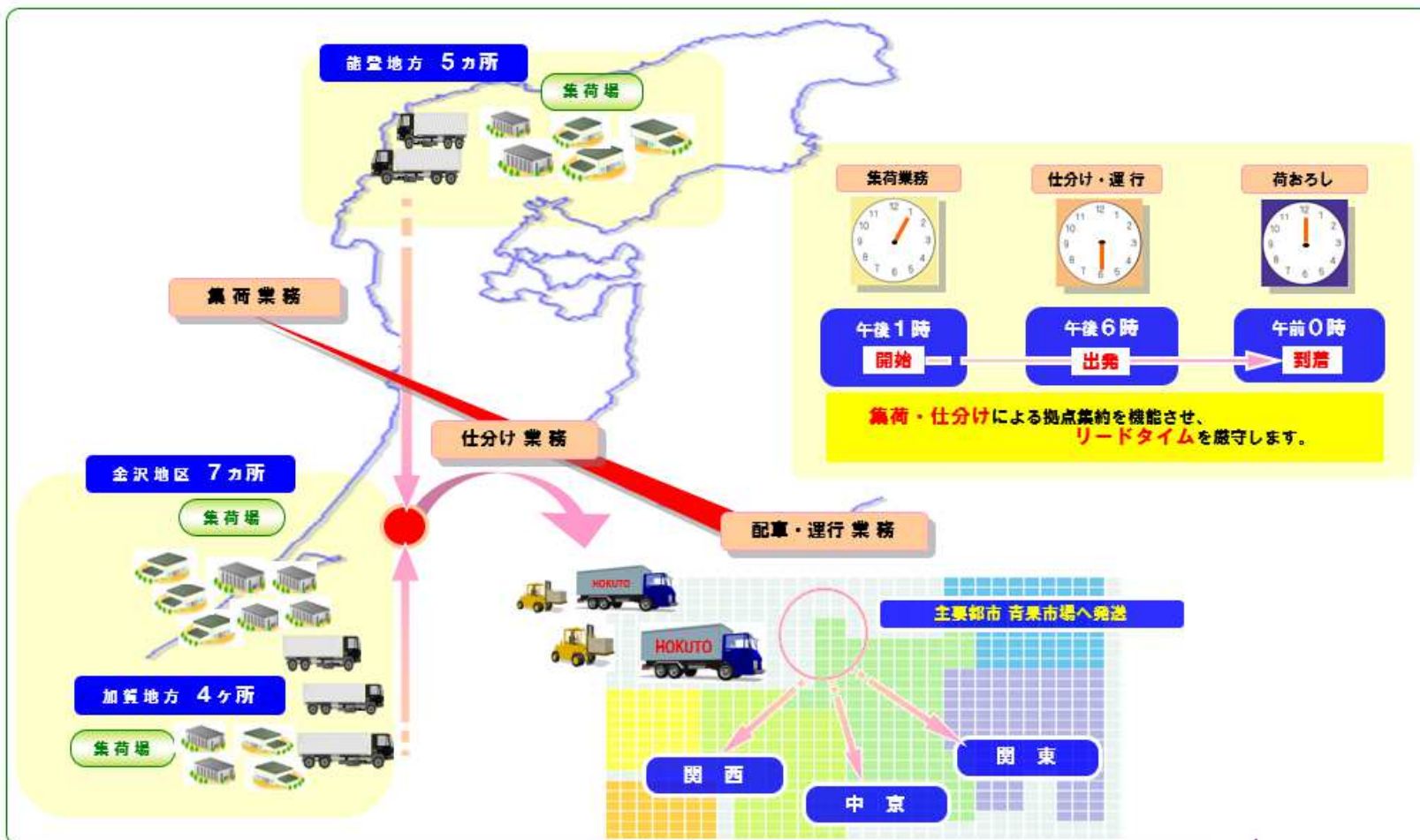


入庫から最終輸送までをトータル管理する総物流を展開

5. 北都高速グループの取組み

グループ各社が特色を活かし、地域企業と共に発展を目指します。

農産物輸送体制



5. 北都高速グループの取組み

グループ各社が特色を活かし、地域企業と共に発展を目指します。

グループ各社の特色

㈱ 北都高速運輸倉庫 富山

自車輛を主軸にした中長距離輸送

所在地 : 富山県砺波市
保有車輛数 : 43 台
保管倉庫面積 : 1,000㎡

㈱ 北都高速運輸倉庫 福井

保管業務と取扱業務を主軸に
長距離輸送体制を構築

所在地 : 福井県越前町
保有車輛数 : 8 台
保管倉庫面積 : 2,260㎡

㈱ 北都高速運輸倉庫 東北

地域企業のニーズに応え、
中長距離輸送・地場輸送を展開

所在地 : 岩手県平泉町
保有車輛数 : 50 台
保管倉庫面積 : 600㎡

一 関貨物自動車 ㈱

地域企業のニーズに応え、
中長距離輸送・地場輸送を展開

所在地 : 岩手県一関市
保有車輛数 : 24 台

■ 特長

- ・ 地場産業を担う地域企業と共に物流体制を構築しています。
- ・ 輸送品は、繊維・工業製品、食品・飲料品、冷蔵品、危険物等、多種多様にわたります。

■ 中距離・長距離輸送

- ・ 自車輛と専属庸車を兼ね合わせた、配車体制で稼働車輛を安定的に供給します。

■ 地場輸送

- ・ 各社が拠点となってローカルエリアの輸送体制をサポートしています。
- ・ 各社の保管倉庫を活用し、保管輸送の地場展開をおこなっています。

5. 北都高速グループの取組み

グループ各社が特色を活かし、地域企業と共に発展を目指します。

グループ各社の特色

(株)北都高速運輸倉庫 黒部

- **特長**
地場産業を担う優良企業を主軸に、
保管・輸送を併用した物流体制を構築しています。
- 物流業務のアウトソーシングに対応し、
顧客の物流業務負担とコスト負担の軽減に
寄与しています。
- 単品輸送に留まらず、
入荷業務→製品保管→在庫管理→出荷業務→輸送業務
を一括しておこなう、トータル輸送体制を構築しています。

倉庫機能・輸送機能を活かし、顧客の物流需要
に対応した理想的な物流体制です。

物流業務のアウトソーシング事業を展開
取扱業を駆使し長距離輸送に対応

所在地 : 富山県入善町
保有車両数 : 12台
保管倉庫面積 : 3,300㎡



北都黒部 本社事務所/物流倉庫
(H25.7月 新設)



庫内に電動ラック設備を備え、
トータル輸送に対応します。